

「川崎市の昼間人口 平成27年国勢調査結果報告書」を刊行しました

総務省から公表された平成27年国勢調査（平成27年10月1日現在）の「従業地・通学地による人口・就業状態等集計結果」等を基に、町丁字単位までの昼間人口（従業地・通学地等による人口）を川崎市独自に推計し、グラフや解説を加えて分かり易くまとめた「川崎市の昼間人口」を刊行しました。なお、市区単位の昼間人口については、平成29年12月に公表しました「川崎市の人口（4）」と一部重複した内容となっています。この内容につきましては、本日川崎市のホームページに公表します。今後も川崎市の国勢調査結果をまとめたものを順次公表します。

- 本市の昼間人口は130万2千人、昼夜間人口比率は88.3
- 流出人口（昼間に従業・通学のために他の地域へ流出する人口）の6割以上が東京都区部で従業・通学
- 昼間人口が最も多い町丁は多摩区登戸で24,279人
- 昼間人口の対前回増加率が最も高い町丁は幸区新小倉
- 昼間人口密度が最も高い町丁は川崎区駅前本町

本市の昼間人口は130万2千人、昼夜間人口比率は88.3 流出人口の6割以上が東京都区部で従業・通学

平成27年の本市の昼間人口は1,302,487人で、夜間人口（常住人口）の1,475,213人を172,726人下回りました。昼夜間人口比率（夜間人口100人あたりの昼間人口）は88.3となり、平成22年の89.5と比べ1.2ポイント低下しました。

流出人口を従業地・通学地別に見ると、東京都区部へ従業・通学している人口は274,255人となっており、流出人口の6割以上が東京都区部で従業・通学しています。

昼間人口を区別にみると、最も多いのは川崎区の265,121人で、次いで中原区の211,644人で、最も少ないのは麻生区の137,459人となっています。昼夜間人口比率の推移を区別にみると、幸区は平成22年に続いて3.5ポイントと大きく上昇し、中原区は5.4ポイントと大きく低下しています。（図1・2）

図1 流出・流入地域別、就業者・通学者数
(平成27年)

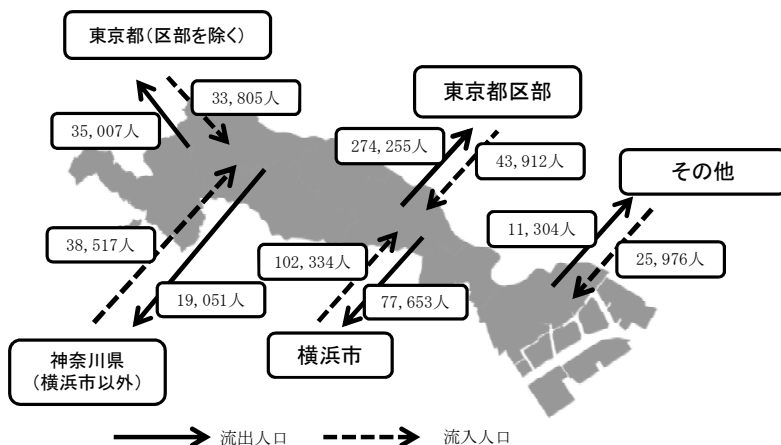
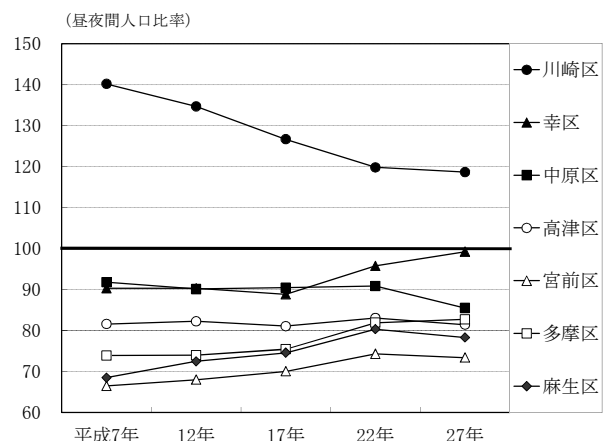


図2 昼夜間人口比率の推移一区
(平成7年～27年)

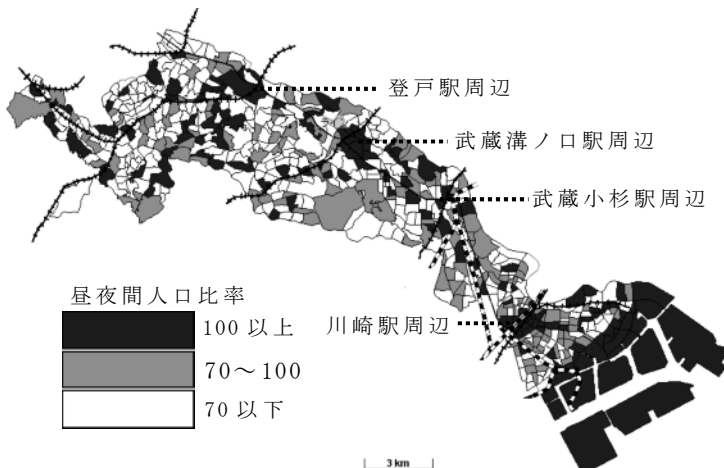


昼間人口が最も多い町丁は多摩区登戸で 24,279 人

昼間人口を町丁別にみると、最も多いのは多摩区登戸の 24,279 人で、次いで宮前区野川の 22,481 人、幸区堀川町の 19,583 人となっています。町丁別の昼夜間人口比率を地図上でみると、登戸駅、武蔵溝ノ口駅、武蔵小杉駅、川崎駅などに隣接する町丁で昼間人口が夜間人口を上回り、昼夜間人口比率が 100 を超えています。さらに、工場等が多く立地する川崎区の臨海部の町丁でも、昼夜間人口比率が 100 を超えています。

表 1 昼間人口の上位 10 町丁(平成 27 年)

順位	区	町丁名	昼間人口	夜間人口	昼夜間人口比率
1	多摩区	登戸	24,279	22,676	107.1
2	宮前区	野川	22,481	28,301	79.4
3	幸区	堀川町	19,583	1,713	1,143.2
4	川崎区	日進町	15,327	6,995	219.1
5	中原区	下沼部	14,900	4,670	319.1
6	川崎区	駅前本町	12,933	474	2,728.5
7	幸区	小向東芝町	12,020	-	-
8	多摩区	東三田2丁目	11,554	978	1,181.4
9	高津区	久本3丁目	11,136	7,777	143.2
10	中原区	上小田中4丁目	11,075	2	553,750.0



昼間人口の対前回増加率が最も高い町丁は幸区新小倉 昼間人口密度が最も高い町丁は川崎区駅前本町

町丁別の昼間人口について前回からの増加率をみると、最も高いのは幸区新小倉の 137.3% (増加数 868 人) となっており、次いで幸区新川崎の 118.2% (同 960 人)、川崎区港町の 92.1% (同 1,142 人) となっており、大規模な事業所のある町丁や駅周辺の開発などがあった町丁の増加率が高くなっています。

昼間人口密度が最も高い町丁は川崎区駅前本町 (87,488 人/km²) で、次いで幸区堀川町 (77,335 人/km²) など、川崎駅周辺の町丁が多く占めています。

表 2 昼間人口増加率の上位 10 町丁(平成 27 年)

順位	区	町丁名	昼間人口増加率(%)	平成27年 昼間人口	平成22年 昼間人口	増加数
1	幸区	新小倉	137.3	1,500	632	868
2	幸区	新川崎	118.2	1,772	812	960
3	川崎区	港町	92.1	2,382	1,240	1,142
4	川崎区	小田栄2丁目	72.2	3,344	1,942	1,402
5	川崎区	池上新町3丁目	65.2	2,222	1,345	877
6	麻生区	はるひ野5丁目	56.6	390	249	141
7	川崎区	白石町	54.5	1,988	1,287	701
8	川崎区	東扇島	49.5	9,349	6,254	3,095
9	麻生区	はるひ野4丁目	41.5	2,648	1,872	776
10	中原区	新城2丁目	41.4	605	428	177

注1) 昼間人口、夜間人口とも年齢「不詳」を含む。
注2) 人口100人以上の町丁を対象としている。
注3) 住居表示のあった町丁は、平成22年時点での町丁と比較した。

表 3 昼間人口密度上位 10 町丁(平成 27 年)

順位	区	丁	昼間人口密度 (人/km ²)	昼間人口	昼夜間 人口比率	面積 (km ²)
1	川崎区	駅前本町	87,488	12,933	2,728.5	0.15
2	幸区	堀川町	77,335	19,583	1,143.2	0.25
3	川崎区	砂子2丁目	74,929	4,297	535.8	0.06
4	幸区	大宮町	73,309	7,209	193.8	0.10
5	川崎区	砂子1丁目	73,183	3,901	701.6	0.05
6	麻生区	上麻生1丁目	68,350	9,831	1,718.7	0.14
7	川崎区	東田町	66,210	5,332	465.7	0.08
8	多摩区	東三田2丁目	65,696	11,554	1,181.4	0.18
9	中原区	上小田中4丁目	61,076	11,075	553,750.0	0.18
10	高津区	溝口1丁目	56,158	8,314	620.0	0.15

注) 昼間人口密度及び人口接近度の算出には総務省統計局『地図で見る統計(統計GIS)』からダウンロードした面積を使用。

● 詳細は、川崎市ホームページ内の掲載ページをご覧ください。

トップページ→市政情報→情報公開・各種統計→統計情報→国勢調査結果→
平成 27 年国勢調査結果

問い合わせ先
川崎市総務企画局情報管理部統計情報課
電話 044-200-2069